

桜美林大学大学院国際学術研究科
大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム

公開研究会「コロナ禍後の大学教育を考える」

桜美林大学大学院国際学術研究科大学アドミニストレーション実践研究学位プログラムでは、スクーリングの実施に合わせて、「公開研究会」を開催しております。

今回は、東京大学大学院教育学研究科の両角亜希子准教授をお招きし、「コロナ禍後の大学教育」をテーマに、在学生・修了生ならびに大学教育・経営に関心をお持ちの方々とともに議論を深めたいと思います。

日 時：2021年8月21日（土）16：45～19：00（終了後に情報交換会を予定。退出自由）

場 所：ZOOM（Virtual Campus）によるオンライン

プログラム：

・16:45 開会 浦田広朗 桜美林大学大学院教授（司会）

・16:45～16:50 開会挨拶 大槻達也 桜美林大学大学院教授

・16:50～17:50 講演「コロナ禍後の大学教育」

講師 両角亜希子（東京大学大学院教育学研究科 准教授）

趣旨 日本の大学教育の課題はどこにあるのか、コロナ禍での経験はどのように活かされるのか。東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センターが全国の大学教員を対象に実施した調査「コロナ禍後の大学教育※」などをもとに考えます。

※<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/cat77/cat88/>

・17:55～18:55 パネルディスカッション「コロナ禍後の大学教育を考える」

趣旨 両角先生の講演を受けて、お二人のパネリストからコメントをいただき、それに基づいて、コロナ禍後の大学教育について、議論を深めたい。フロアからの活発なコメントも期待しています。

パネリスト 林 透 金沢大学教学マネジメントセンター 教授

(2006年度秋学期・大学アドミニストレーション専攻（通信教育課程）修了)

清水 栄子 追手門学院大学基盤教育機構 准教授

(2005年度秋学期・大学アドミニストレーション専攻（通信教育課程）修了)

両角亜希子（前掲）

司 会 小林 雅之 桜美林大学大学院教授

・18:55～19:00 閉会挨拶 畑山 浩昭 桜美林大学学長

・19:00～20:00 情報交換会 鈴木克夫 桜美林大学大学院教授（司会）

参加費：無料

申込方法：参加を希望する方は、以下の Google フォームからお申し込みください。入室のためのリンクをお知らせします。なお、会場の都合上、お知らせは直前になりますことをご承知おきください。

<https://forms.gle/JoTThvMedhnR9a9x6>

申込締切：2021年8月19日（木）

◆ 講師・パネリストのご紹介 ◆

| | |
|--|--|
| <p>両角亜希子</p>  | <p>東京大学大学院 教育学研究科 准教授</p> <p>東京大学大学院教育学研究科博士課程修了、博士（教育学）。産業技術総合研究所 技術と社会研究センター特別研究員、東京大学大学総合教育研究センター助手・助教、東京大学大学院教育学研究科講師を経て、2013年より現職。主要編著書は『日本の大学経営－自律的・協働的改革をめざして』（東信堂、2020）、『学長リーダーシップの条件』（東信堂、2019）。</p> |
| <p>林 透</p>  | <p>金沢大学 教学マネジメントセンター 教授</p> <p>名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程修了、博士（教育）。金沢大学職員、北陸先端科学技術大学院大学特任准教授、山口大学准教授を経て、2021年4月より現職。専門は教学マネジメント、カリキュラム研究、キャリア教育。主要著書に『高等教育における視学委員制度の研究－認証評価制度のルーツを探る－』（東信堂）、共訳に『エビデンスの時代のFD－現在から未来への架橋－』（東信堂）。</p> |
| <p>清水 栄子</p>  | <p>追手門学院大学 基盤教育機構 准教授</p> <p>広島大学教育研究科人間科学専攻博士課程修了（博士（教育学））。国立高等専門学校法人阿南工業高等専門学校 FD 高度化推進室特命講師、愛媛大学教育企画室助教、講師などを経て、2018年9月より現職。日本アカデミック・アドバイザー協会会長。著書に『アカデミック・アドバイザー－その専門性と実践－日本の大学へのアメリカの示唆』（単著）『大学SD 講座2 大学教育と学生支援』（第3章、第11章担当）（玉川大学出版部）などがある。</p> |
| <p>畑山 浩昭</p>  | <p>桜美林大学 学長</p> <p>桜美林大学文学部卒業。ノースカロライナ大学シャーロット校大学院修ライナ大学シャーロット校大学院修士課程修了(M.A.)、マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了(M.B.A.)、ノースカロライナ大学グリーンズボロ校大学院博士課程修了(Ph.D.)。2006年より教授。基盤教育院長、学長補佐、副学長等を経て、2018年より学長。大学基準協会常務理事、日本高等教育評価機構委員、世界大学総長協会委員などを務める。</p> |
| <p>大槻 達也</p>  | <p>桜美林大学大学院 国際学術研究科 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム 教授</p> <p>早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。文部科学省大臣官房総括審議官、国立教育政策研究所長などを経て、2019年から桜美林大学教授（現在、大学院 国際学術研究科 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム長）。専門は教育政策。編著に『2020年以降の高等教育政策を考える』（桜美林大学出版部）、『教育研究とエビデンス』（明石書店）、共訳に『研究活用の政策学』（明石書店）など。</p> |
| <p>小林 雅之</p>  | <p>桜美林大学大学院 国際学術研究科 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム 教授</p> <p>東京大学教育学研究科博士課程中途退学、博士（教育学）、広島修道大学講師・助教授、放送大学助教授、東京大学・大学総合教育研究センター助教授・教授を経て、現職。東京大学名誉教授。文部科学省中央教育審議会臨時委員、国立教育政策研究所フェロー、日本高等教育学会会長。主要編著書に『2020年以降の高等教育政策を考える』（桜美林大学出版部）、小林雅之『大学のIR』（慶應義塾大学出版会）、『大学進学の世界』（東京大学出版会）、『進学格差』筑摩書房。</p> |
| <p>浦田 広朗</p>  | <p>桜美林大学大学院 国際学術研究科 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム 教授</p> <p>広島大学大学院教育学研究科博士課程修了。麗澤高等学校教諭、麗澤大学教授、名城大学教授などを経て、2017年から桜美林大学教授。専門は教育社会学。主な論文は「1990年代以降の大学における格差構造に関する実証的研究」（広島大学提出学位論文）。共著に『新説 教育社会学』（玉川大学出版部）、『大学教授職の国際比較』（東信堂）、『よくわかる高等教育論』（ミネルヴァ書房）など。</p> |
| <p>鈴木 克夫</p>  | <p>桜美林大学大学院 国際学術研究科 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム 教授</p> <p>慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程修了。学校法人駿河台学園、財団法人私立大学通信教育協会勤務を経て、2003年から桜美林大学助教授、2009年から教授。専門は遠隔高等教育で、大学における通信教育、遠隔教育、ICT活用教育に関する歴史的、制度的、方法論的研究、ならびにそれらを活用した社会人の再教育、生涯学習について調査研究を行っている。</p> |

大学の行政・管理・運営にわたる
専門的知識・能力を有する大学経営の専門家の養成

「大学アドミニストレーター」

Master of Arts in Higher Education Administration

- ✓ 全国どこからでも履修できる大学経営分野で国内唯一の通信教育課程
- ✓ 学生の多くは全国の国公立大学職員で豊富な事例や体験から相互に学び合うことが可能
- ✓ 前身の「大学アドミニストレーション研究科」を含め、合わせて500名を超える修了生ネットワーク
- ✓ レポートへの丁寧な添削指導と修士論文の作成で論理的文章力が飛躍的に向上
- ✓ 複合的な学修と学際的な研究活動を実現する学位プログラム制

大学アドミニストレーション 実践研究学位プログラム



通信教育課程

修士課程

国際学術研究科

